

# 各地からの便り



「各地からの便り」の詳細は

森もりスクエア

検索

## 「国民の森林づくり」 功労者へ感謝状を贈呈

国民の森林づくり感謝状贈呈式



【留萌南部森林管理署】

令和5年5月30日（火）、留萌南部森林管理署において、「国民の森林づくり感謝状贈呈式」を開催し、新星マリン漁業協同組合女性部留萌支部米倉孝子支部長に木製の感謝状を贈呈しました。

北海道森林管理局では「国民参加の森林づくり」を推進する観点から、永年にわたり国有林における森林づくり、森林環境教育や森林保全・管理に功績のあった個人や団体に感謝状をお贈りしています。

新星マリン漁業協同組合女性部は、毎年「チババリふれあいの森」において、「お魚を呼ぶ森林づくり」活動でミズナラの植樹活動などを行い、かつてニシン漁で栄えていた頃の栄養豊富な海を育てる森林づくりを進めてこられたことから、今回、北海道森林管理局長の感謝状を贈呈することになったものです。

## 北海道長沼高等学校 にて出張授業を開催 しました



【総務企画部 企画課】

令和5年6月16日（金）、北海道長沼高等学校の2年生40名を対象に出前授業を開催しました。長沼高等学校は、昨年度から空知森林管理署と協力して、地元の防風保安林の整備を進めています。今年は植栽した樹木周りの下刈り作業を予定しており、今回はその事前学習としての授業です。当日は北海道森林管理局の職員で林業漫画家でもある平田係長が、「漫画で広げる森林・林業応援団～漫画家からのメッセージ～」と題し、日本の森林・林業・木材産業とそこで働く人たちの役割や重要性についての講義を行いました。林業は約50年かけて木を育てる循環産業であることや、街の生活の中で木を長く大切に使うことが、地球温暖化問題にも貢献することなど。普段街の中の生活で、なかなか意識することのないことも森林から様々な恩恵を受けていることを、イラストを交えて説明し、生徒の皆さんは「そうなんだ！」と真剣に聞き入っていました。

## 大雪山国立公園と国 有林のさらなる連携 推進を目指して



【上川中部森林管理署】

令和5年5月18日（木）、「令和5年度大雪山国立公園における国立公園と国有林の連携推進会議」を上川中部森林管理署（旭川市）で開催しました。

この会議は、大雪山国立公園における林野庁と環境省の現場レベルでの連携強化を図ることを目的として実施しているもので、当日は森林管理署と国立公園管理事務所から7名が出席しました。

同公園は希少な生態系の宝庫であり、火山群や大樹海など壮観な景色が広がることから、多くの登山者が訪れる場所でもあり、その保全と利用上の課題として登山道整備のあり方や「山のトイレ」問題などがあります。

今回の会議ではこれらの解決に向け、両者の今年度の事業内容についての情報共有と意見交換を行いました。両者が連携を進めていく上で現場に最も近い場所で働く職員同士が対面で話す場となり、より良い国立公園づくりに向け大変有意義なものとなりました。

## 北海道・木育（もくいく） フェスタ 2023 第 73回北海道植樹祭



【胆振東部森林管理署】

令和5年5月28日（日）、厚真町字幌内において「第73回北海道植樹祭」を開催しました。

この植樹祭は、北海道、北海道森と緑の会、北海道森林管理局が道民参加による協働の森林づくりを進めるため、「森づくり」や「木づかい」に係る一連のイベントを一体的に行う「北海道・木育フェスタ」の一環として開催しているものです。

今年は胆振東部地震の発生から5年の節目を迎えることから、被災地域において森林の再生と地域の復興が一層進むよう願いを込めました。そして、地元小学生が元気に「緑の宣言」を行った後、全員でアカエゾマツ、カラマツ、シラカンバ、ケヤマハンノキ、ヤチダモの苗木1,000本を植樹し復興への思いを新たにしました。

作業終了後には、本日植えた木々が立派な森林を築いてくれることを楽しみに標柱を立てて記念撮影を行いました。